

令和3年度島根大学大学院

教育学研究科入試問題（I期）

《教育実践開発専攻（専門職学位課程）》

小論文

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙1枚、解答用紙2枚、下書き用紙2枚である。

指示があってから確認し、解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。

- 3 解答は、解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙は、持ち帰ること。

受験番号

《教育実践開発専攻（専門職学位課程）》

小論文 問題

OECD は、PISA (Programme for International Student Assessment) と呼ばれる国際的な学習到達度に関する調査を行っており、日本も参加しています。その PISA 調査では、15 歳児を対象として読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの 3 分野について、3 年ごとに調査を実施しています。2018 年の調査における日本の結果に関して、読解力において、2015 年の調査より平均得点が有意に低下していることとともに、習熟度レベル 1 以下の低得点層が有意に増加していることが課題として指摘されました。

そこで、PISA 調査での読解力とは、どのような力であるのかについて論じるとともに、上記の課題を解決するために、どのような具体的な方策が考えられるかを、1,100 字以上 1,300 字以内で論じなさい。